

2019年10月11日

各 位

株式会社紀陽銀行

「紀陽銀行 健康経営宣言」の表明について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、「紀陽銀行 健康経営宣言」を表明しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、これまでも行員の健康の保持・増進に向けたさまざまな施策を実施してきましたが、「紀陽銀行 SDGs宣言」において重点取組項目としている「多様な人材の活躍推進」を図るため、健康経営により一層積極的に取り組んでまいります。

記

1. 健康経営宣言

紀陽銀行 健康経営宣言

紀陽銀行は、地域経済の発展により一層貢献するためには、行員とその家族の健康を保持・増進することが重要であると認識し、健康経営を積極的に推進します。

紀陽銀行健康保険組合および紀陽銀行従業員組合と相互に協力して健康経営を実践することにより、あらゆる人材が最大限に能力を発揮できる環境を整備し、地域のお客さまにより質の高いサービスを提供してまいります。

2. 今後の重点的な取り組み

- ・従業員の健康に関する積極的な関与
- ・従業員の生活習慣病の予防
- ・従業員の禁煙に向けた取り組み
- ・メンタルヘルス不調の未然防止強化

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール3「すべての人に健康と福祉を」につながる取り組みです。



【ご参考：これまでの主な取組実績】

・生活習慣病の予防に向けた取り組み

行員の生活習慣病予防のため、法定健康診断後の精密検査・再検査の受診を徹底しています。

➤ 精密検査・再検査受診率：100%（2016年以降）

・「働き方改革」への取り組み

労働時間の適正化に向け、週1回月4回以上ワーク・ライフ・バランスデーを設定し定時前退行を励行しています。また、時差勤務制度や時間単位有給休暇制度の整備など多様な働き方の実現に向けたさまざまな取り組みをおこなっています。

・ストレスチェックの実施

全行員を対象にストレスチェックを実施しています。実施後は各部に組織分析の結果をフィードバックするなど、メンタルヘルス不調の未然防止に取り組んでいます。

・行内スポーツ大会の開催

従業員組合が毎年ソフトバレーボール大会を開催し、運動機会の提供と職場内コミュニケーションの活性化を図っています。

➤ 2019年度参加者：1,477名

・インフルエンザ予防接種の補助

行員とその扶養家族を対象に、健康保険組合がインフルエンザの予防接種にかかる費用の補助を実施しています。

➤ 2018年度の利用実績：行員1,964名 行員の扶養家族1,024名

以上